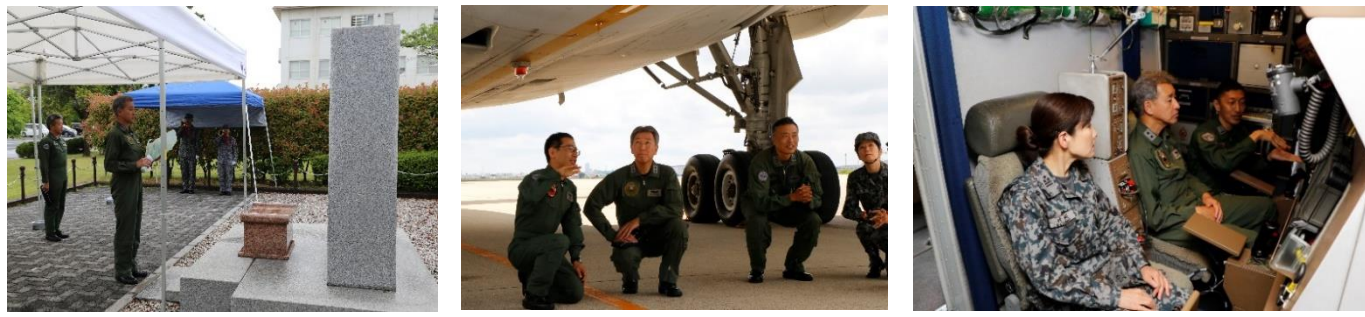




支援集団副司令官部隊視察



航空支援集団副司令官 加治屋空将補が、5月15日(水)及び16日(木)部隊視察のため、小牧基地に来られました。

副司令官は部隊視察に先立ち、基地慰霊碑にて献花を行い、その後1輸空隊司令と懇談され、支援集団隷下部隊より状況報告を受けたのち部隊視察へ赴きました。

初めにKC-767航空機を視察し、食堂での会食の後、基地業務群本部、飛行群本部、小牧気象隊、整備補給群本部、小牧管制隊、K/C-130H搭載中の機動衛生ユニット、第401飛行隊及び機動衛生隊の順に視察されました。

第401飛行隊では、アイスコーヒーでなごみながら談笑され、終始穏やかな雰囲気の中視察を終えられ帰路につかれました。



令和6年度防衛・基地モニター小牧基地研修



5月17日に令和6年度防衛・基地モニターによる小牧基地研修を行いました。

今回は基地の運営に係る基地業務群を詳しく学んでいただきました。研修について基地モニターより感想を頂きましたのでご紹介いたします。

「令和6年度モニターの第1回目の活動として第1輸送航空隊基地業務群の研修に参加しました。きびきびした隊員による国旗掲揚からはじまり、今年3月より新設されたサイバー運用隊の業務説明では自衛隊の新たな職種に興味をわきました。また、消防小隊での消防服の着用やダミー人形の搬出訓練体験など行い、モニター一同大興奮でした。今後も小牧基地や他基地の研修に参加し、航空自衛隊及び小牧基地についての理解を深めていきたいと思います。」

感想を頂いた部隊のほか、管理隊、衛生隊、警備小隊、給養小隊、会計隊、業務隊厚生班を研修させていただきました。普段は見る事ができない基地を支える部隊を学ぶことで、航空自衛隊及び小牧基地の理解を深めていただきました。この場をお借りして、ご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。



日米友好祭 横田基地フレンドシップフェスティバル2024支援



5月18日(土)及び19日(日)の2日間、小牧基地所属のK/C-130Hが航空機展示のため、横田基地で行われた「日米友好祭 横田基地フレンドシップフェスティバル2024」に参加しました。

当イベントでは米空軍所属のF-22戦闘機をはじめ、航空自衛隊、陸上自衛隊や民間の航空機など多くの航空機が地上展示されました。また、航空機地上展示のほかにもアメリカ人と日本人による多くの売店の出店や米空軍所属のF-16戦闘機及びC-130J輸送機の飛行展示もあり、イベントを大いに盛り上げてくれました。小牧基地所属のK/C-130H及び隊員は航空機の機内展示や普段使用しているヘルメットや救命装置等の物品の試着等を行い、長蛇の列ができるほど大盛況となり来場者の航空自衛隊への理解が深まったことと思います。

昨年の入場者数は19万3000人でしたが、今回の来場者数は30万2000人とこのことで昨年までと比べると10万人以上増の大盛況となりました。今回来場者数が増えた理由として2012年の地上展示を最後に日米友好祭 横田基地フレンドシップフェスティバルでは展示されていなかった「世界最強の戦闘機」といわれるF-22戦闘機の地上展示が注目を集めたとされています。今後も様々なイベント等を通して航空自衛隊及び小牧基地への理解を深めて参ります。



檜崎先生(支援集団司令部装備部長 檜崎 1 佐) お誘い稽古

基地剣道部は、支援集団司令部装備部長：檜崎 1 佐(以下、檜崎先生)が支援集団副司令官部隊視察に随行された際、部隊視察後課外においてお誘いし、稽古させて頂きました。

檜崎先生は、第13代第1輸送航空隊整備補給群司令在任中、基地剣道部に所属され、部活はもちろんのこと部外稽古にもよく通われておりました。また、小牧市の少年少女剣士への指導にも尽力し地域貢献もされておりました。

今回のお誘い稽古は、急でもあり檜崎先生を含め四名での稽古となりましたが、久々に檜崎先生の真摯な剣風(「気」が入った真っ直ぐな綺麗な剣道)による稽古をつけていただくことができました。

「檜崎先生、部隊視察後稽古ついていたいただきありがとうございます。」

基地剣道部は、基地体育館にて昼休みに20分から30分程度の毎日稽古しています。また、個人個人が部外稽古へ覗いてみて良かつたら声をかけて下さい。

